第１回三重がん患者の妊孕性を支える多職種研修会

コメディカル向け

近年のがん治療成績の向上に伴い、若年がんサバイバーが増加し、治療後の不妊に悩む方も増えております。治療前の妊孕性温存療法の情報提供がいわれる中、臨床現場では妊孕性温存療法への意思決定のプロセスや、治療後の妊娠・出産をどのように支援していくかまで求められることもあり、実際の支援で悩む場面も少なからずあると思います。また、自施設で妊孕性温存が出来ない場合にどのように相談したらよいのか悩む場面も多いと思います。本セミナーは、実際の臨床現場で悩むことの多い事例について、多職種で検討し支援のありかたについて皆さまと一緒に考えていきます。

日時：2019年 8月 4日（日）13:00～17:00
場所：三重大学医学部看護学科棟　第１講義室
対象：がん臨床または生殖医療に携わる看護師・薬剤師・臨床心理士・MSW・チャイルドライフスペシャリスト等
定員：60名
参加費：無料

プログラム

12:40　開場
13:00～13:10　開会の挨拶
13:10～13:20　「三重県におけるがん診療の現状」
（三重大学病院がんセンター　センター長　中瀬一則先生）
13:20～13:40　「三重大学での妊孕性温存療法」
（三重大学病院高度生殖医療センター　助教　前沢忠志先生）
13:40～14:20　「がん生殖医療における心理職の役割（仮）」
（岐阜大学医学部附属病院　がん・生殖医療専門心理士　伊藤由夏先生）
14:20～15:00　「がん患者の妊孕性温存医療における意思決定からがん治療後に不妊治療を試みるまでの支援」
（IVF大阪クリニック　不妊症看護認定看護師　小松原千暁先生）
15:00～15:10　休憩
15:10～16:40　**事例検討**
①「妊孕性温存療法の情報提供の在り方を考える」
②「多職種による施設間の連携を考える」
16:40～17:00　閉会の挨拶　アンケート記入　研修修了証授与

主催：三重大学がんセンター
共催：日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位（4単位）
日本薬剤師研修センター研修単位（4単位）
後援：JSFP看護部門
三重がん・生殖医療ネットワーク
がんプロフェッショナル養成プラン推奨セミナー

※本セミナーは事前登録制です。
下記または裏面のFAXでお申し込みください。

https://goo.gl/forms/M0zcQzxGecba4PlG3

お手元のスマートフォンからアクセスしてください。

第１回三重がん患者の妊孕性を支える多職種研修会

本セミナーは、資料準備の関係等から事前登録制とさせていただきます。

申込締め切り：**2019年7月28日**

延長しました

アクセス

徒歩の場合：近鉄名古屋線江戸橋駅下車徒歩20分
バスの場合：「大学病院前」バス停下車　徒歩10分

乗車場所	行き先	下車
津駅東口 ④番バス停	椋本行	「大学病院前」バス停で下車
	豊里ネオポリス行 高田高校行 一身田行 三行行 白塚駅行千里駅行	

自動車の場合：学内駐車場をご利用ください。
※無料駐車場利用の場合は、正門か南門からお入りください。

事前登録は、表面のQRコードを読み込んでの参加登録もしくは、下記を記入の上FAXをしてください

FAX送信先：059(231)5348

第1回　三重がん患者の妊孕性を支える多職種研修会
事務局：三重大学医学部がんセンター
担当　　連絡先　TEL　059(231)5296

貴施設名	

氏名	職種	セミナー参加希望 （〇を付けてください。）
	医師 ・ 看護師 薬剤師・その他	あり　なし
代表者連絡先（メールアドレス） @		
	医師 ・ 看護師 薬剤師 ・ その他	あり　なし
	医師 ・ 看護師 薬剤師 ・ その他	あり　なし
	医師 ・ 看護師 薬剤師 ・ その他	あり　なし
	医師 ・ 看護師 薬剤師 ・ その他	あり　なし
	医師 ・ 看護師 薬剤師 ・ その他	あり　なし
	医師 ・ 看護師 薬剤師 ・ その他	あり　なし